

望ましい環境像

豊かな未来を創造する 持続可能な環境共生都市

望ましい環境像の実現イメージ（令和12年）

基本目標5



清掃活動の様子

基本目標4



見沼田圃とさいたま新都心

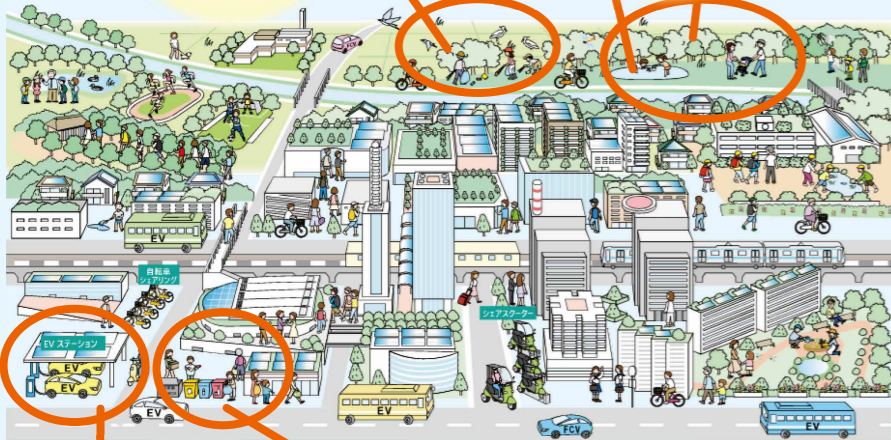
基本目標3



生きものの保全

あらゆる主体が
手を取り合い、
積極的に行動

水辺や緑は、
人と自然が
共生するための
貴重な資源として
保全



エネルギー
マネジメントが進んだ
スマートシティが実現

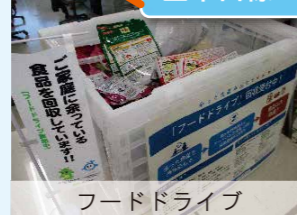
ごみの削減
に向けた
意識の定着

スマートホーム・コミュニティ
チャージエリア



基本目標1

基本目標2



フードドライブ

★望ましい環境像を実現していくための基本目標1～5を紹介

さいたま市のイベント紹介

★さいたまサステナブル都市サミット

～E-KIZUNA グローバルサミット～の開催

国内外の都市と連携し、脱炭素社会の実現に寄与することを目的に、令和4年11月にサミットを開催しました。

サミットでは、「持続可能な都市の実現に向けて、今、わたしたちがすべきこと」をテーマに、効果的な政策等について意見交換・情報共有が行われました。

また、サイドイベントにおいては次世代自動車等を展示し、テクニカルツアーでは、スマートホーム・コミュニティ先導的モデル街区や大宮盆栽美術館の視察を実施しました。



サミット登壇者の集合写真

★第6回食品ロス削減全国大会 in さいたまの開催

10月30日の「食品ロス削減の日」に食品ロス削減全国大会を開催しています。第6回は首都圏初となる本市での開催となり、消費者庁、環境省による食品ロス削減推進表彰やトークショー、食品ロス削減クイズ大会などを実施しました。

また、パネル・ブース展示では、事業者、関係団体、学生、国や自治体等がそれぞれの食品ロス削減の取組を展示し、情報交換を行いました。



食品ロス削減クイズ大会

さいたま市環境局環境共生部環境総務課
〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号
TEL 048-829-1325 / FAX 048-829-1991

このパンフレットは2,000部作成し、1部あたりの印刷経費は60円です。



令和5年版 さいたま市環境白書

（さいたま市環境基本計画年次報告書）

概要版



本編はこちらから
ご覧いただけます

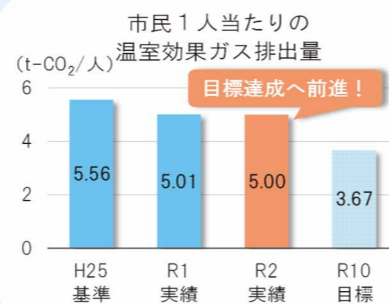
基本目標 1

地球温暖化の問題に地域から行動し、脱炭素社会を実現する

「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ（ゼロカーボンシティ）」に向けて、「エコでスマートなライフスタイルの推進」キャンペーンや省エネルギー・再生可能エネルギー設備等の導入補助をはじめ、市民、事業者の持続可能なまちづくりへの取組を促進しています。

2050年ゼロカーボンシティの実現に向けては、市民一人ひとりが地球温暖化対策を実践していただくことが大変重要です。

★ 市民、事業者、行政が一丸となって、脱炭素社会を実現しよう ★



取組紹介

★モビリティサービスの充実

電動アシスト付き自転車やEVスクーター、小型EVのシェアリングサービスの実証実験を実施しています。車両の拡充やステーションの新設を行っています。



小型EV

★緑のカーテンの実施

夏季のヒートアイランド現象などによる気温の上昇に対し、夏の暑さを緩和するまちづくりを進めるとともに、熱中症予防対策について市民への普及・啓発をしています。



本庁舎 緑のカーテン

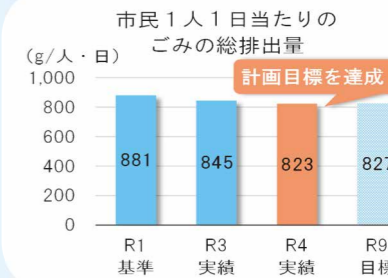
基本目標 2

ともに取り組み参加する、循環型都市を創造する

ごみの減量や資源の再使用を進め、環境負荷の少ない循環型社会を構築するため、「ごみスクール」の実施や環境美化の推進など、環境保全や環境美化に対する意識向上に向けた啓発活動を推進しています。

ごみの削減は順調に進んでいますが、循環型都市の実現のためには、更なるごみの削減、分別、資源化が求められています。

★ 一人ひとりができることから取組もう ★



具体的な取組はこちらから

取組紹介

★食品ロスの削減

「おいしく減らす、食品ロス」をコンセプトに、Saitama Sunday Soup(日曜日は食べつくスープ!)のパンフレットを作成し、食品ロスをなくすための買い方・冷蔵庫整理のコツや、家庭で余った食材を日曜日にスープにして食べきるレシピ等を紹介しています。



パンフレット

★アップサイクル商品の制作

本市誕生20周年を記念して大宮駅に掲出した大型フラッグを、オンラインストア「サデコMONOがたり」やデザイナー、市内障害者施設の協力により、ポシェットやペンケースに生まれ変わらせました。



アップサイクル企画イメージ

基本目標 3

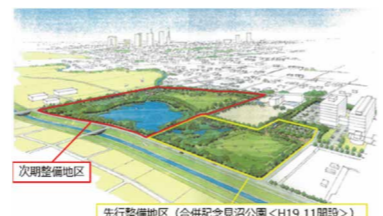
自然と共生し、多様ないのちが息づくまちを実現する

見沼田圃地域の公園整備や公共施設の緑化などに取組み、市内の自然環境の保全と緑づくりを進めています。また、市内各所における自然観察会を開催するなど、さまざまな市民活動や市のイベントを通して市民の自然環境に対する理解促進を図っています。

取組紹介

★さいたまセントラルパーク整備事業

見沼田圃地域の自然・歴史・文化をかがえのない環境資産として次世代に引き継ぎ、見沼田圃の保全・活用・創造を先導するために、令和12年度の供用開始を目指し、「さいたまセントラルパーク」の整備を進めています。



セントラルパーク整備事業イメージ

基本目標 4

安全で誰もが暮らしやすい生活環境を実現する

大気汚染物質の常時監視や工場・事業場排水に係る監視や指導の充実などを通して、大気質や水質を中心とする生活環境の維持・保全に取り組むとともに、都市景観や歴史的・文化的環境の保全を図っています。

取組紹介

★無電柱化の推進

安全で歩きやすい歩行空間の確保、優れた都市景観の形成などを目的に、「さいたま市無電柱化推進計画」に基づいて、防災上の重要な道路やバリアフリー経路などを対象として無電柱化を進めています。



無電柱化整備後

各目標達成の下支え

基本目標 5

すべての主体が手を取り合い、環境の保全と創造に意欲的に取り組むまちを実現する

将来を担う子どもたちを対象とした環境教育、学習事業を実施しているほか、民間事業者などの環境教育ネットワークの充実を図っています。

また、市民や事業者等の環境活動を促進するため、さまざまな支援を行っています。

取組紹介

★「さいたま市環境フォーラム」の開催

市民、事業者、学校、行政などがそれぞれの立場で行っている環境保全の取組について展示・発表を行い、多くの方々に環境に関心を持っていただくための環境教育・学習の場、また、お互いの情報交換と交流の場を創出し、より一層の環境保全活動の推進を目的に、平成13年度から開催しています。



会場の様子